

PHS 実用化実験

1993年（平成5）に、PHS（Personal Handy-phone System）公衆サービスの実用化実験が実施され、PHSサービス実用化・提供に向けて研究開発が進められた。PHSは簡易、かつ低廉にパーソナルな通信機能を提供できる携帯電話システムである。ネットワーク形態としては、公衆網活用型、公衆網接続型、独自網の3種類が検討されたが、KDDが日本テレコムと共同で実施した実用化実験では独自型が採用された。

本実験の成果をもとに、94年、PHS公衆通信サービスを首都圏を皮切りに開始した。離れた保守センターから保守・監視などを行う機能や、将来の拡張に備えてソフトウェア/パラメータをリモートでダウンロードする機能を付加したこともKDD基地局の大きな特徴である。

出典：KDD社史